

## 東日本大震災と風評被害及び印刷企業の活性化（第5報）

国際印刷大学校 木下 堯博

2011年8月下旬、東北地方の印刷・同関連業の支援・調査活動に参加し、宮城県印刷工業組合を中心として標題について調査した。7月の調査では、福島県印刷工業組合で風評被害を第一として、線量計などを持参し、対応しているとのことであったが、この約2ヶ月間で風評被害は拡大していった。風評被害は放射性物質による商品又はサービスなどの買い控え、取引停止などにより発生した被害といわれている。風評被害の払拭に向けた国民への明確なメッセージの発信、需要拡大へ向けたシステムの長期継続の実施が必要である。風評被害の原因はマスコミの報道の影響とみられるが、その受けての消費者にも原因がある。誠実なコミュニケーションの努力により、風評被害を解決することが必要であろう。(1)

印刷業では福島県の県外からの印刷発注を避ける傾向もある。特に食品関係のパッケージなどは福島県外を指定するとのこともある。また、安全証明なども必要となる。印刷業は受注産業であり、第1次産業から第3次産業、官公庁、教育機関などすべての分野産業を対象として主として地域内の商業活動を行っている。風評被害により、地域経済にダメージがあると、その影響が大きい。印刷業は甚大な被害を被る可能性がある。

工業製品など海外への輸出についても各国が基準(2)を設定して、日本商品の荷降ろしを拒否する場合がある。文部科学省原子力損害賠償紛争審議会ではこれら風評被害を積極的に賠償することになり、工業製品の輸入規制で生じた減収分を対象とした。

朝日新聞(3)ではこの風評被害について、福島県で製造

した工業製品を海外や県外の業者が受け取りを拒否したり、取引停止の動きが止まらないとのこと、それに対し放射線量の測定結果を添付しているが、もともと工業製品に関し線量基準がなく苦慮している。

今回の支援活動は仙台市を中心として、宮城県印刷工業組合、東北堂印刷株、仙台活性化研究センター、日本製紙石巻などの他、現地支援・調査協力者の岩淵和則氏(栗原市)との情報交換を行った。8月26日、宮城県印刷会館でJAGAT主催のJUMP東北2011(復興へ、未来へ、夢へ)の集い(写真1)に参加し、東日本大震災からの徐々に立ち直りを見せ、東北地方でもIGAS2011の対応など印刷企業内に活性化の動きが見えてきた。なお、この支援・調査活動は日本財団の助成により行った。(2011年8月28日記)

### 参考文献

- (1) 山口 聡ら；調査と情報、718号、(2011年6月28日)
- (2) ドイツ4Bq/1cm<sup>2</sup>、台湾0.2μSv/h、トルコ0.5μSv/h From LOGI-BIZ May,2011
- (3) 朝日新聞；2011年8月25日朝刊



写真1 JUMP東北2011講演会場

## 私の印刷教育（2）

印刷教育研究会 野中 通敬\*

前回の私の印刷教育（1）で、会津大学短大部産業情報学科デザイン情報コースでの担当する専門科目「視覚情報伝達論B」（2単位）「半期15回講義」（集中講義の場合もある。）の内容についてまとめた。今回はシラバスの講義項目から説明したいと思う。講義項目と内容は表1にまとめた。

印刷技術は多岐にわたるため、全体を整理し理解するためには、印刷の5版式や印刷の5要素、企画から製本までの各プロセスの流れを手掛かりとすることが有効である。

現在は無版方式内の、電子写真やインキジェット、電子書籍、印刷機では、オンデマンド印刷機等に注目して講義を行う必要があるであろう。

### 教科書・参考書及び視聴覚教材

- (1) 野中、黒川監修「グラフィックアーツ」, 「新・カラーイラスト印刷技術」(教科書)
- (2) 富士フィルムグラフィックシステムズ(株)編「改訂誰でもわかる“印刷のできるまで”」(参考書)
- (3) 辻内順平著「光学概論I」(62ページ～73ページ) 朝倉書店(測光・測色)(参考書)
- (4) 池田光男著「色彩工学の基礎」朝倉書店(色彩学)(参考書)
- (5) 使用ビデオは、2001.12.1放送, “ダビンチの予言”第109回「印刷」, 半七写真印刷工業(株)製作「原色版の世界」これはデザイン系学生に好評, JICC総合開

表1 講義項目と内容

週	講義項目	内容
1	グラフィックアーツの概要	印刷産業の現状(含ビデオ)
2	印刷の原理 I	5版式:凸版, 平版, 凹版, 孔版, 無版
3	印刷の原理 II	5要素:原稿, 版, 印刷機, 印刷用紙, 印刷インキ
4	印刷システム I	企画—版下作製—製版:ビデオ
5	印刷システム II	印刷—後加工:ビデオ
6	印刷用紙	製造法, 種類, 規格
7	印刷用紙 II	特性, その試験方法
8	色彩 I	色と光, マンセル表色系
9	色彩 II	測光, 測色
10	色彩 III	CIE表色系
11	カラー画像再現	一般
12	印刷でのカラー画像再現	クベルカ・ムンク理論, 網点での再現
	(追記) 視覚情報伝達に関する新しい分野は随時, 各項目でまとめる。	

発局製作「ビデオで学ぶ印刷のすべて」PART I 〈企画, 製作〉, PART II 〈写植, 版下〉, PART III 〈製版〉, PART IV 〈印刷〉, PART V 〈加工, 製本〉これらは印刷のシステムやプロセスを理解するのに最適で, 技術はやや古い, 現在は大部分がソフト化されているに過ぎない。このビデオは印刷図書館に所蔵されている。製紙に関しては前印刷学会会長の尾鍋史彦先生のNHKテレビ放送大学特別講義「紙の文化学」をご本人の許可を取って使用している。

次回からは, 個々の講義内容について記述していこうと思っている。

\*元東京工芸大学工学部

〒221-0065 横浜市神奈川区白楽15-3

Tel & Fax 045-433-5172

E-mail m-nonaka@22.netyou.jp